

平成25年度第2回石狩市地域包括支援センター運営協議会

開催日：平成25年11月25日（月）

時間：18:00～18:50

場所：石狩市総合保健福祉センター
りんくる3F 視聴覚室

傍聴者数：0人

【出席者】

委員：橋本会長、橋本副会長、須貝委員、渡辺委員、野村委員、奥山委員、松原委員、山口委員、中里委員

事務局：沢田部長、田森課長、内藤主査、岩本主査、中野主査、宮主査、加藤主査、高田主任、泉主事、熊谷課長、池垣主査、富木保健師、木村課長、辻主査、工藤主任、戸賀澤センター長、菊地センター長、秀友会窪田統括部長

議事録

○地域包括支援センターの運営について

①介護予防支援について

②各センターへの相談状況等について

事務局から資料1（1Pから6P）「要支援者等の人数と予防支援計画についての状況の推移」、「サービス事業者利用実績（平成24年12～平成25年5月分）」並びに8P「各センターへの相談状況等について」について説明。

【質問・意見】

山口委員：資料の2ページですが、石狩市北地域包括支援センターと石狩市南地域包括支援センターで、25年3月と25年9月では、大きく数字が入れ替わっていますが介護予防支援の8が153で298が170と出ていますが、これは統廃などしたのでしょうか。

事務局：介護予防支援件数の推移についてですが、平成25年3月末と9月末で、石狩市北地域包括支援センターと石狩南包括支援センターの予防件数が大きく変わっていますが、これは、本年4月1日から石狩市北地域包括支援センターに、元からあった市直営の石狩市花川北地域包括支援センターを委託して石狩市北地域包括支援センターとなり、運営形態が大きく変わりました。介護予防支援を、花川南地区と花川北地区とそれ以降北の方と地区をわけ移行して、ほぼ半々になっております。

橋本副会長：3ページ以降ですが、サービス毎に数の多いものから順番に載せた方が隙間がなくなり見やすいと思います。厚田と浜益の支援の件数は、浜益の方が多が高齢者の数も浜益の方が多いのですか。

事務局：65歳以上の高齢者の厚田・浜益地区の人数ですが、厚田地区が813名浜益地区が806名と、ほぼ同数に近い人数となっています。

橋本副会長：厚田が少ないのか、浜益が多いかは良くわからないが、介護度が大きく違う方がいるとは思えないので、ひょっとしたら厚田の掘り起こしが足りないのかも知れないし、浜益が多いのかも知れないと思いました。

事務局：分析については、今は行っていないので今後行い、次回の委員会で報告したいと思います。

橋本会長：他に何かありませんか。なければ中間報告についてお願いします。

③平成25年度の事業報告（中間報告）について

事務局から資料1（9P～22P）「平成25年度の事業報告（中間報告）について」について報告

【質問・意見】

渡辺委員：地域包括支援課の報告は、支援センター運営協議会で必要なのでしょうか。

事務局：地域包括支援課の報告についてですが、本年4月に花川北地域包括支援センターが直営であったものが委託になり、現在、委託が2件直営が2件と4事業が運営していますが、取りまとめをしているのが地域包括支援課となっているので、今後とも取りまとめ報告を行っていきたいと考えております。

松原委員：14ページの4. 介護予防の（1）の4行目の講和とありますが、和は話ではないでしょうか。

事務局：ご指摘のとおりで、話という字になります。

橋本副会長：厚田の助け合いマップは、絵で見るとイメージがつかめて、何処にどんな人が居るかすごくいいと思うが、どの辺の情報まで共有するのか、個人情報保護法との兼ね合いは大丈夫でしょうか。

事務局：私達と、民生委員さんとお互いにどの程度、情報を共有できるかがあったが、両方とも秘密の守秘義務があるので、確認を取りながら行いました。少ない人数なので持っている情報もそうですが、どのような地図が良いのか、事務局の方とも話し合っていました。介護や身障や精神とか色々な情報が重なり合っている支援者を、優先度が一番高い方にしようとか話し合っていました。対象者をどの様に選定するかに時間を取りました。

橋本副会長：対象者は、要支援以上とか要介護以上の方とかでの、しぼりかたではないのですか。

事務局：その様なことも話し合いに出ていたが、介護とか身体障害の部分とかこちら情報もわからないこともあるので、独居や人工透析など、この見守りマップをどの様に活用するかについても、今後の検討になっていきますが、たとえば災害などで必要なものとか、日頃の見守りや声掛けに必要な

ものとか、まだ完璧なものではないが一つ一つ積み重ねて行こうと考えています。

橋本副会長：アナログマップの上にとということですか。

事務局：はいそうです。普通の地図に赤や青や黄色のシールを貼って、赤のシールが付いた方が一番優先度が高いとかにしています。

橋本副会長：65歳以上が800人位で対象者は何人位いるのですか。

事務局：人口が2,000人位で、高齢者が800人位で、施設に入所していたり家族と同居している方とかは、優先度は低いので。

橋本副会長：先々のことを考えると、グーグルマップを利用するとか考えた方が良いと思います。頑張ってください。

山口委員：厚田と浜益で、75歳以上の方を対象に実態把握調査を行っていますが、旧石狩地区では行っていないのでしょうか。また、この調査はどの程度のサイクルで行っているのでしょうか。

事務局：石狩地区での実態把握調査は、数が膨大なので、本年10月1日現在で、65歳以上の方は14,098人で、75歳以上の方は6,183人になるので、理想的には一件々回るのがよいが、人手が足りないので、調査の方法としては石狩全体で、65歳以上の方で基本チェックリストで少し虚弱な方を探すために、国が定めたチェックリストで3年に1回受けられるように計画的に郵送していますが、全部が回収できるわけではないが、その中で把握した方々で、ちょっと危ないなと思われる方々については、訪問や電話や文書等で介護予防事業等への参加を促して行くような対応は取っているが、一人々対応するのは難しいと思います。現在は、75歳以上の実態把握調査は厚田と浜益でやっていることになります。

橋本会長：今回からの中間報告で、初めて石狩市地域包括支援課が加わりましたが、センターの横断的な課題の把握や、市で全体的に行う発信等、担う役割は大きいと思います。今後ともよろしくお願いします。

他に何かありませんか。(なしの声あり)

平成25年12月13日 議事録確定

会長署名 橋本伸也